令和8年度（2026年度）

小学生すくすくウォッチ　泉大津市の結果概要

令和8年度　小学生すくすくウォッチ

○目 的：子どもたち一人ひとりが自らの強みを知り、学びの基盤となる言語能力や読解力、情報活用能力、問題発見・解決能力等を向上させ、これからの社会を生き抜く力を着実につける。

○実施日：令和8年4月22日～30日　※期間内で学校が実施日を決定

○対 象：小学校、義務教育学校前期課程及び支援学校小学部の第5・6学年

○実施児童数 5年生：　泉大津市　546人　　大阪府　62,730人
6年生：　泉大津市　528人　　大阪府　63,153人

○内 容：5年生：国語、算数、理科、わくわく問題（教科横断型問題）、アンケート
6年生：理科、わくわく問題（教科横断型問題）、アンケート

○児童への資料「ウォッチシート（個人票）」の提供
【記載内容】
・アンケート結果からわかる児童一人ひとりのよいところ
・各教科とわくわく問題（教科横断型問題）の解答状況から見られる、児童一人ひとりのよいところ
・各教科とわくわく問題（教科横断型問題）のすべての問題について、児童一人ひとりの正答状況とそれに合わせたアドバイス

教科に関する調査結果

【領域・観点・形式別正答率】（5年生）

※標準化得点：大阪府全体の結果から平均と標準偏差を用いて変換した得点。
大阪府平均を100として表している

R8年度5年	国語	算数	理科	わくわく問題
平均正答率（%）	69.7	52.3	58.6	57.4
標準化得点	99.9	100.1	99.7	99.9

■国語

分類		区分	標準化得点
学習指導要領の内容	知識及び技能	（1）言葉の特徴や使い方に関する事項	99.8
		（2）情報の扱い方に関する事項	99.9
		（3）我が国の言語文化に関する事項	100.3
	思考力、判断力、表現力等	話すこと・聞くこと	
		書くこと	99.8
		読むこと	
評価の観点	知識・技能		99.9
	思考・判断・表現		99.8
	主体的に学習に取り組む態度		
問題形式	選択式		100.0
	短答式		99.8
	記述式		

■算数

分類	区分	標準化得点
学習指導要領の領域等	数と計算	100.0
	図形	100.5
	測定／変化と関係	99.6
	データの活用	100.2
評価の観点	知識・技能	99.9
	思考・判断・表現	100.3
	主体的に学習に取り組む態度	
問題形式	選択式	100.3
	短答式	99.7
	記述式	100.3

■理科

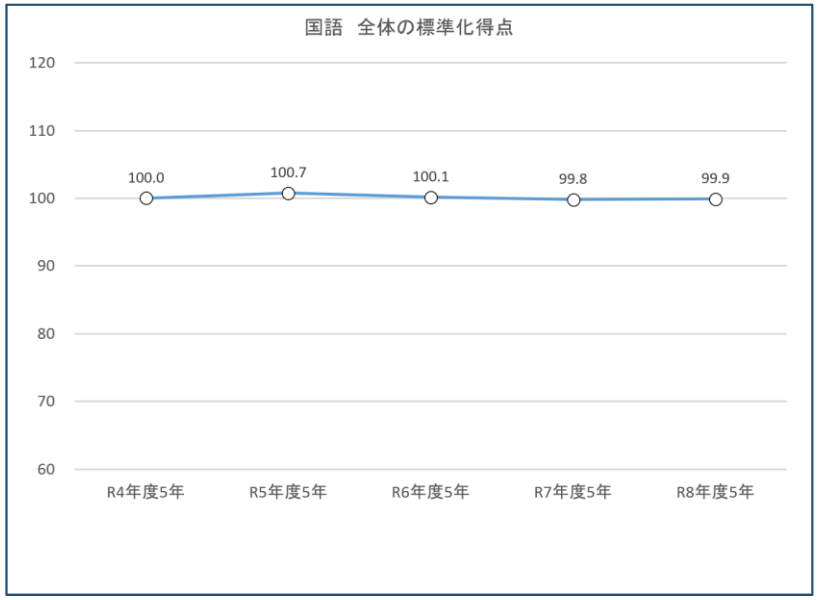
分類	区分	標準化得点
学習指導要領の領域等	「エネルギー」を柱とする領域	99.5
	「粒子」を柱とする領域	99.7
	「生命」を柱とする領域	100.3
	「地球」を柱とする領域	99.9
評価の観点	知識・技能	99.8
	思考・判断・表現	99.6
	主体的に学習に取り組む態度	
問題形式	選択式	99.6
	短答式	99.8
	記述式	99.8

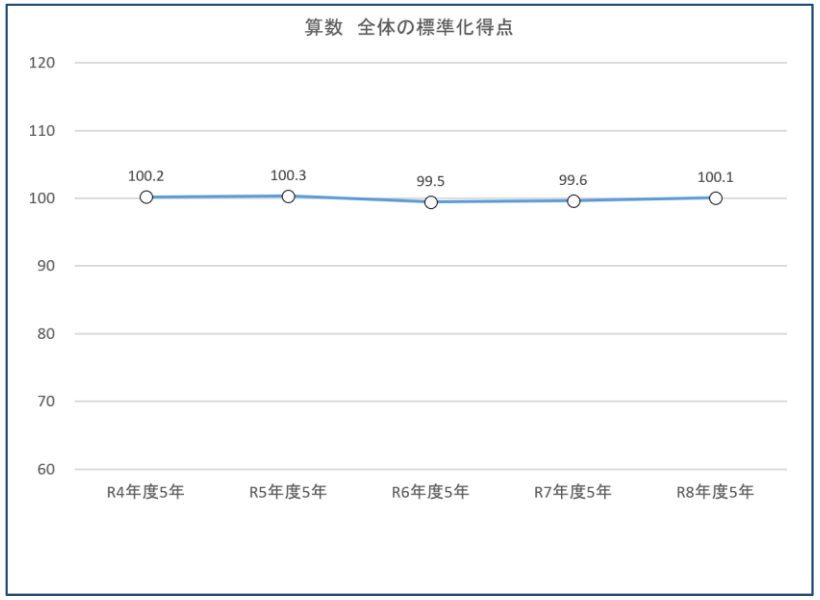
■わくわく問題

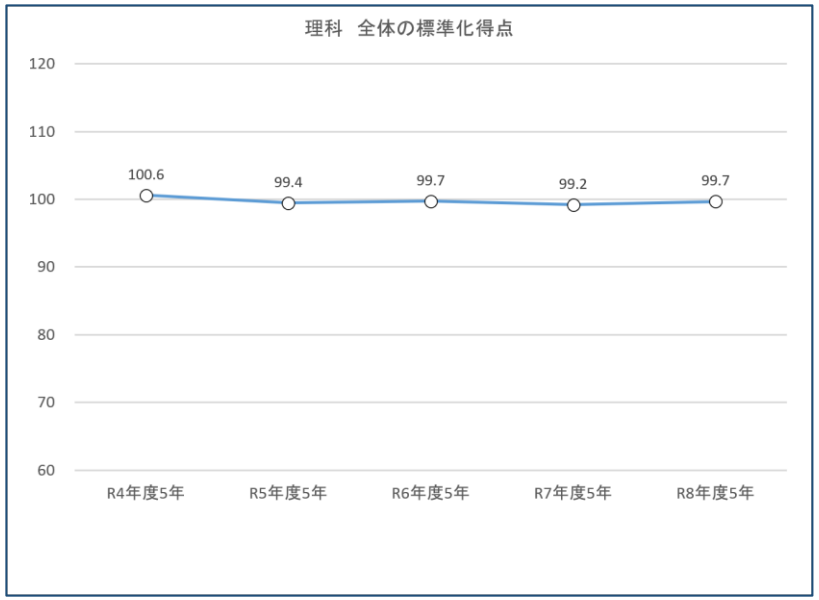
分類	区分	標準化得点
問題をとらえる	文章から読み取る	99.7
	会話から読み取る	99.9
	図や表から読み取る	99.9
伝える	資料の情報を整理して伝える	99.8
	自身で考えたことを伝える	100.2
	理由や根拠を明確にして伝える	99.9
問題形式	選択	99.8
	図表	99.7
	記述	100.2
観点	図や表、グラフ、短い文章、会話文等の内容を関連付けて、正しくとらえる。	99.7
	図や表、グラフ、短い文章、会話文等の内容を関連付けて、それをもとに論理的に考える。	99.7
	図や表、グラフ、短い文章、会話文等の内容を関連付けて、それをもとに新たな課題を考える。	99.9
	図や表、グラフ、短い文章、会話文等の内容を関連付けて、それをもとに自分の考えをまとめ、伝える。	100.2
	興味・関心のある事がらについて、意欲的に工夫して相手に伝える。	100.5

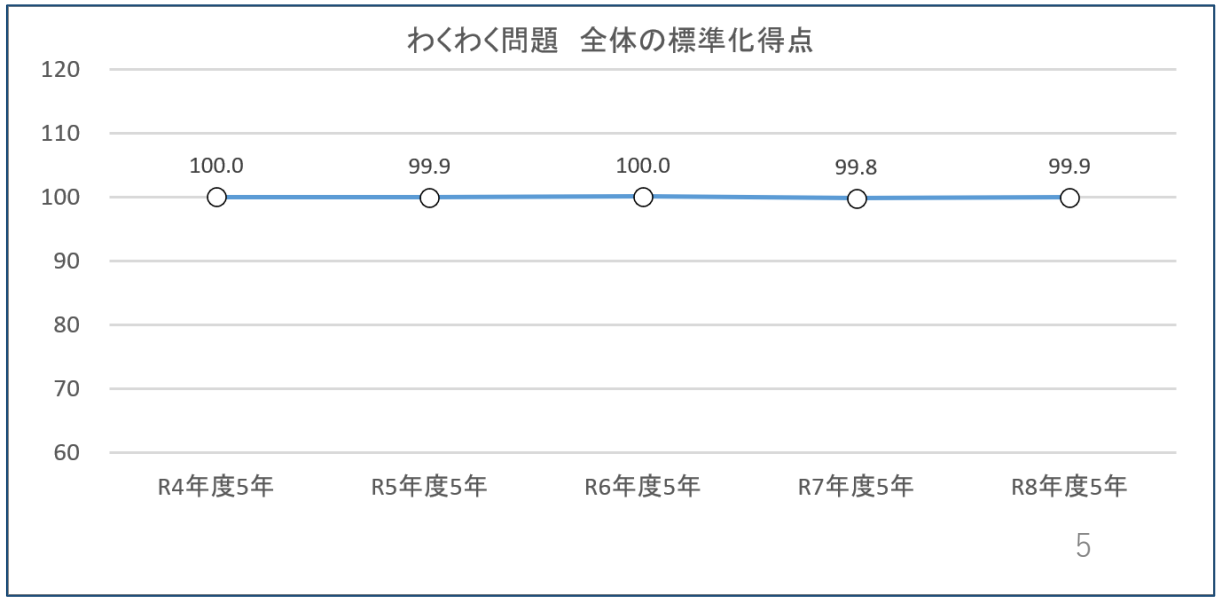
【領域・観点・形式別正答率】（5年生）

※標準化得点：大阪府全体の結果から平均と標準偏差を用いて変換した得点。
大阪府平均を100として表している









【領域・観点・形式別正答率】（6年生）

※標準化得点：大阪府全体の結果から平均と標準偏差を用いて変換した得点。
大阪府平均を100として表している

R8年度6年	理科	わくわく問題
平均正答率（%）	63.5	68.7
標準化得点	99.9	100.0

■理科

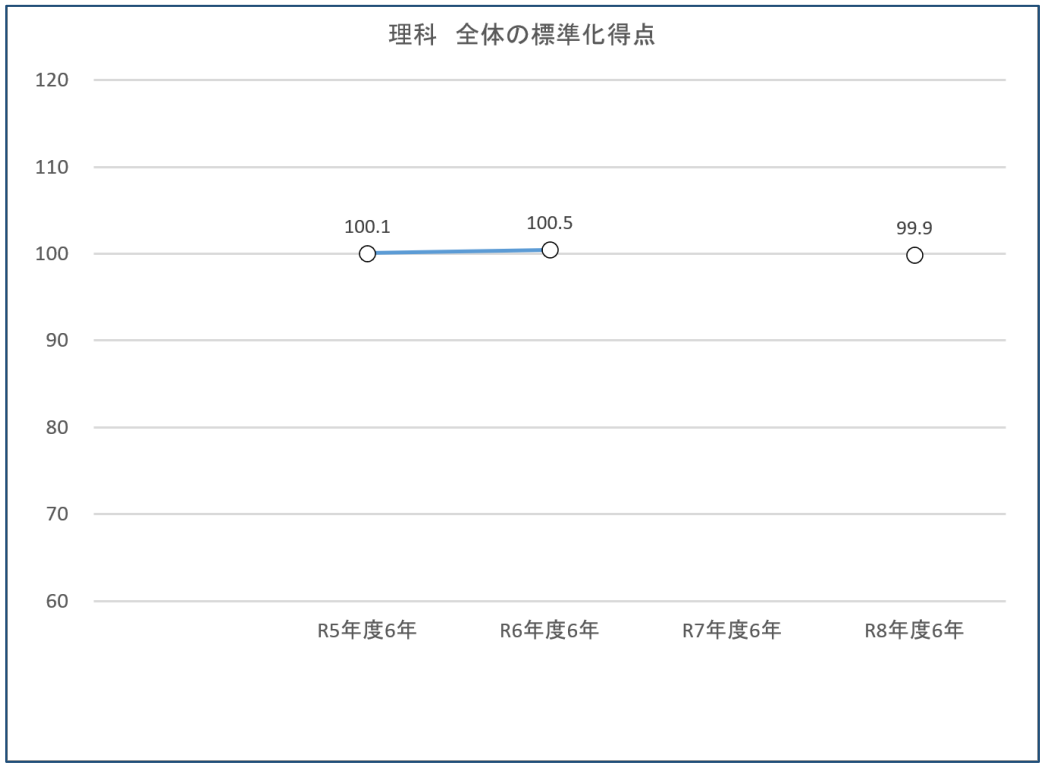
分類	区分	標準化得点
学習指導要領の領域等	「エネルギー」を柱とする領域	99.4
	「粒子」を柱とする領域	99.7
	「生命」を柱とする領域	100.5
	「地球」を柱とする領域	99.9
評価の観点	知識・技能	100.2
	思考・判断・表現	99.6
	主体的に学習に取り組む態度	
問題形式	選択式	99.7
	短答式	100.8
	記述式	99.6

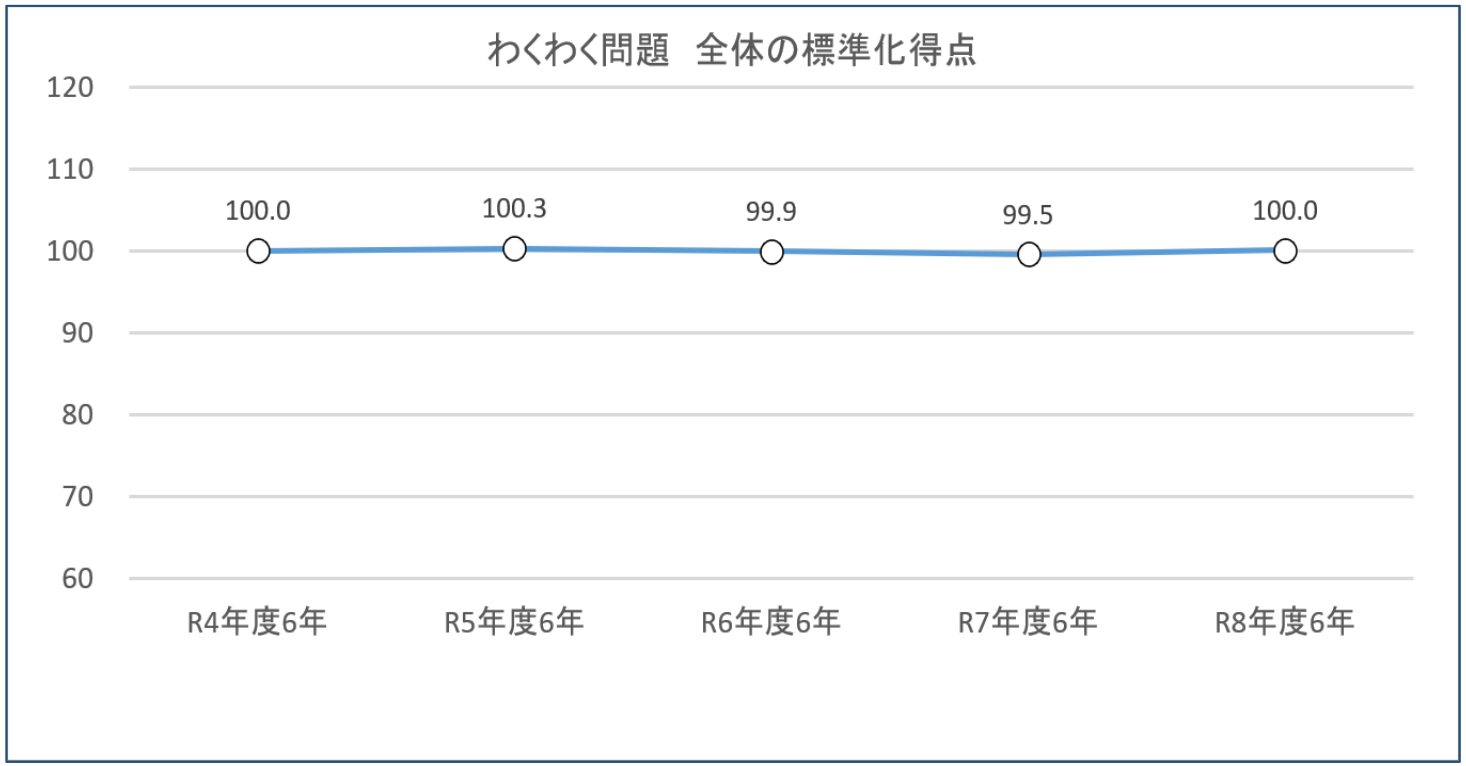
■わくわく問題

分類	区分	標準化得点
問題をとらえる	文章から読み取る	99.8
	会話から読み取る	100.2
	図や表から読み取る	100.1
伝える	資料の情報を整理して伝える	100.0
	自身で考えたことを伝える	100.3
	理由や根拠を明確にして伝える	100.2
問題形式	選択	99.8
	図表	100.1
	記述	100.3
観点	図や表、グラフ、短い文章、会話文等の内容を関連付けて、正しくとらえる。	99.9
	図や表、グラフ、短い文章、会話文等の内容を関連付けて、それをもとに論理的に考える。	100.0
	図や表、グラフ、短い文章、会話文等の内容を関連付けて、それをもとに新たな課題を考える。	100.2
	図や表、グラフ、短い文章、会話文等の内容を関連付けて、それをもとに自分の考えをまとめ、伝える。	100.3
	興味・関心のある事がらについて、意欲的に工夫して相手に伝える。	100.3

【領域・観点・形式別正答率】（6年生）

※標準化得点：大阪府全体の結果から平均と標準偏差を用いて変換した得点。
大阪府平均を100として表している



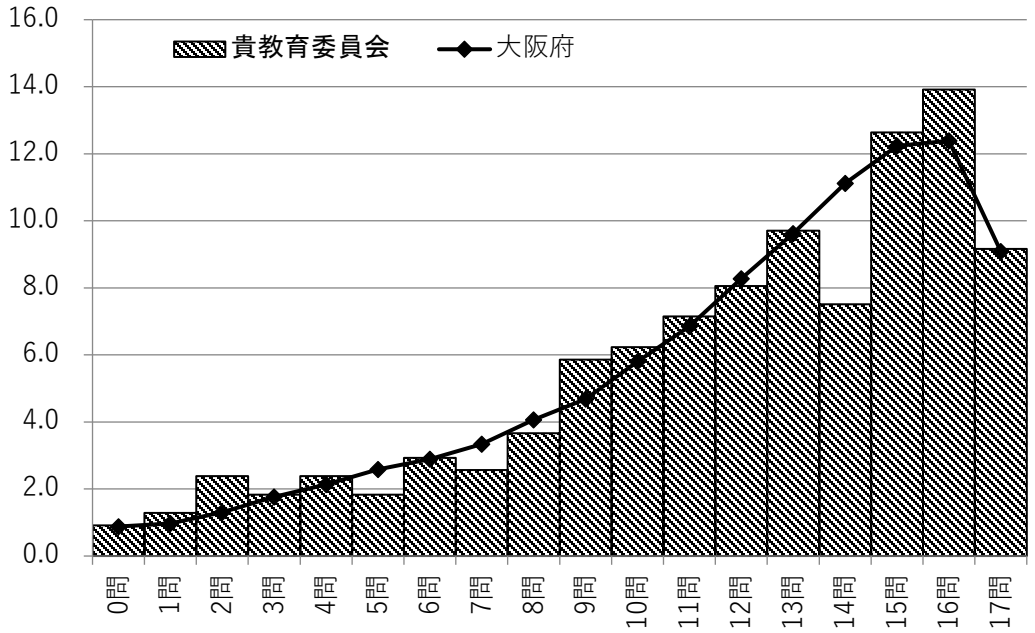


【5年生　国語】　リーディングスキルを問う問題が多数含まれる

	平均正答数	平均正答率	無解答率
泉大津市	11.8問 / 17問	69.7%	4.6%
大阪府（公立）	12.0問 / 17問	70.3%	5.0%

分類		区分	平均正答率（%）	
			泉大津市	大阪府
学習指導要領の内容	知識及び技能	（1）言葉の特徴や使い方に関する事項	69.0	69.8
		（2）情報の扱い方に関する事項	75.1	75.6
		（3）我が国の言語文化に関する事項	74.9	72.5
	思考力、判断力、表現力等	話すこと・聞くこと	―	―
		書くこと	66.9	67.8
		読むこと	―	―
評価の観点	知識・技能		69.7	70.3
	思考・判断・表現		66.9	67.8

＜正答数分布グラフ＞



＜主なポイント＞

・文を正しく理解し、指示語の指示内容を捉えることや、相手や目的に応じた適切な言葉に書き直し、文を整えることはできている。

・文の中における主語と述語の関係に注意して、述語の部分を正しく書くことや、示された文の構造や、文と文との意味のつながりを考えながら、適切な接続表現を使って一文で書くことには課題がある。

具体的な問題例 2（1）（2）

文中の助詞を正しく使う。

2 次の(1)と(2)の――部①から③までの言葉の中に、間違って使われている言葉が一つあります。その番号をそれぞれ一つ選び、正しい言葉をひらがな一文字で書きましょう。

(1) ほうきで①ちりとりに②ごみが③集める。

番号 …… ③

正しい言葉 …… を

(2) 音楽室で①ピアノに②演奏を③聴く。

番号 …… ②

正しい言葉 …… の

泉大津市 83.3%
（大阪府 84.5%）

泉大津市 72.0%
（大阪府 78.0%）

具体的な問題例 7（2）

文を正しく理解し、指示語の指示内容を捉える。

7 次の(1)と(2)の――部の言葉がさし示す言葉として正しいものを、あとの1から4までの中からそれぞれ一つ選びましょう。

(1) 教室の壁に貼られている私の書道の作品と時計の間に、時間割表が掲示されています。それは、クラスのみんなで作ったものです。

④ 1 壁　2 書道の作品　3 時計　4 時間割表

泉大津市 83.3%
（大阪府 83.9%）

リーディングスキル
「照応解決」

具体的な問題例 12（1）

文の中における修飾語と被修飾語の関係を捉えて、文の内容を正しく理解する。

(1) 机の上の白い小さな箱の中に、押し花で作ったしおりが入っている。

問い ――部の言葉が説明している言葉は何ですか。次の1から4までの中から一つ選びましょう。

② 1 机　2 箱　3 押し花　4 しおり

泉大津市 71.6%
（大阪府 72.1%）

リーディングスキル
「係り受け解析」

具体的な問題例 9

一文を二文に分けて書くとき、文と文の意味のつながりを考え、適切な接続語を使う。

9 次の例にならい、【もとの文】を、意味が変わらないように二つの文に分けて書き直します。【書き直した文】の（　）にあてはまる言葉を、書きましょう。

（例）

【もとの文】
カーテンをあけると、部屋が明るくなった。

【書き直した文】
カーテンをあけた。（　すると　）、部屋が明るくなった。

【もとの文】
消しゴムが小さくなったので、新しい消しゴムを用意した。

【書き直した文】
消しゴムが小さくなった。（　　）、新しい消しゴムを用意した。

「だから」「それで」など、順接の接続表現

泉大津市　81.7%
（大阪府　79.9%）

具体的な問題例 3（1）

文の中における主語と述語の関係に注意して、述語の部分を正しく書く。

3 次の(1)と(2)の文は、――部の言葉の使い方が間違っています。それぞれの文について、――部の言葉を正しく書き直しましょう。

(1) 図書委員の話し合いが、先週行った。

正しい言葉　……（例）行われた

泉大津市　43.4%
（大阪府　40.8%）

(2) 浄水場の役割は、水をきれいにします。

正しい言葉　……（例）することです

泉大津市　43.4%
（大阪府　54.2%）

そもそも問題を読解できていない？

リーディングスキル
「係り受け解析」

具体的な問題例 8（1）

示された文の構造や、情報と情報の関係を理解して文の内容を正しく捉える。

8 次の(1)と(2)の文の内容と同じ意味を表している文を、あとの1から3までの中からそれぞれ一つ選びましょう。

(1) 図書室から教室に重い荷物を運ぼうとしていたつむぎさんは、図書室に来ていたみなとさんに手伝ってもらいました。

1 図書室に来ていたつむぎさんは、図書室から教室に重い荷物を運ぼうとしていたみなとさんを手伝ってあげました。

2 図書室に来ていたみなとさんは、図書室から教室に重い荷物を運ぶのをつむぎさんに手伝ってもらいました。

③ 図書室に来ていたみなとさんは、図書室から教室に重い荷物を運ぼうとしていたつむぎさんを手伝ってあげました。

泉大津市 70.5%
（大阪府 74.6%）

リーディングスキル
「同義文判定」

具体的な問題例 12（2）

文の中における主語と述語の関係を捉えて、文の内容を正しく理解する。

(2) そうたさんとあおいさんが話していたところに、ゆいとさんが来て言いました。「なぎささんがスピーチコンテストの代表に選ばれたって、あさひさんが言っていたよ。」

問い あさひさんから話を聞いたのは誰ですか。次の1から4までの中から一つ選びましょう。

1 そうたさん
2 あおいさん
③ ゆいとさん
4 なぎささん

泉大津市 68.5%
（大阪府 66.8%）

リーディングスキル
「係り受け解析」

基礎的読解力の基盤となるプロセスは、助詞が示す情報を正しく読み取れるかに依存している。

◆対応するRSTの分野
係り受け解析・照応解決
同義文判定

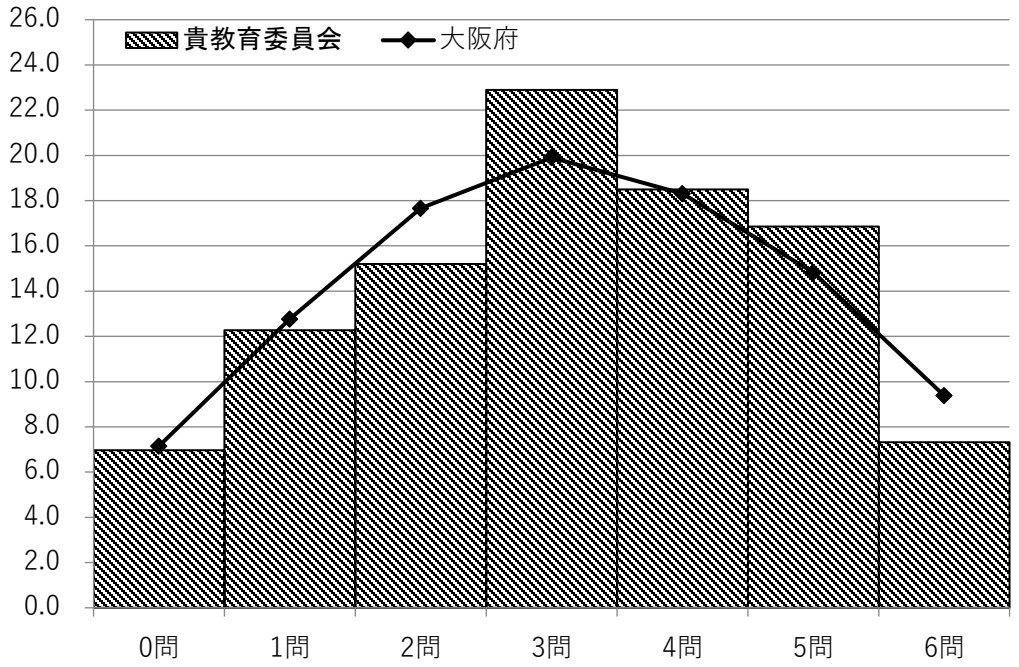
大阪府小学生すくすくウォッチ過去問

【5年生　算数】 大阪の小学生が特に苦手としている領域を中心に出題されている。

	平均正答数	平均正答率	無解答率
泉大津市	3.1問 / 6問	52.3%	3.9%
大阪府（公立）	3.1問 / 6問	51.9%	4.4%

分類	区分	平均正答率（%）	
		泉大津市	大阪府
全体		52.3	51.9
学習指導要領の領域等	数と計算	39.1	39.3
	図形	55.4	52.1
	測定／変化と関係	51.0	54.0
	データの活用	65.9	64.4
評価の観点	知識・技能	45.7	46.4
	思考・判断・表現	65.5	63.0
問題形式	選択式	45.8	42.6
	短答式	45.6	47.6
	記述式	65.5	63.0

＜正答数分布グラフ＞



＜主なポイント＞

・指定時刻の5分前到着に必要な移動時間を考慮し、適切な出発時刻を逆算して求めることは概ねできている。

・伴って変わる2つの数量の変化や対応の規則性を読み取り、□や△などの記号を用いた関係式に表すことには課題がある。

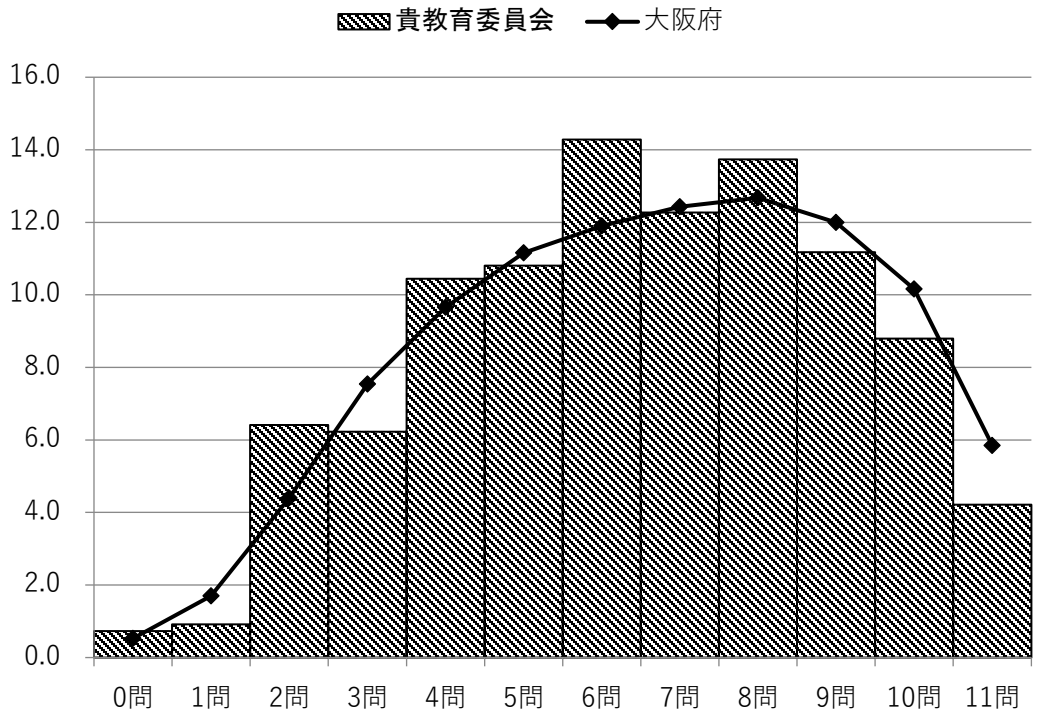
【5年生　理科】

大阪の小学生が苦手としている、見通しをもって観察、実験を行うことや、示されたデータから必要な情報を読み取って論理的に思考し、根拠に基づき表現することが出題されている。

	平均正答数	平均正答率	無解答率
泉大津市	6.4問 / 11問	58.6%	3.1%
大阪府（公立）	6.6問 / 11問	60.1%	3.2%

分類	区分	平均正答率（%）	
		泉大津市	大阪府
学習指導要領の内容	「エネルギー」を柱とする領域	**49.8**	52.8
	「粒子」を柱とする領域	**77.0**	78.7
	「生命」を柱とする領域	**60.4**	57.3
	「地球」を柱とする領域	**60.3**	60.8
評価の観点	知識・技能	**51.8**	52.8
	思考・判断・表現	**66.8**	68.9
問題形式	選択式	**60.2**	62.2
	短答式	**58.9**	60.5
	記述式	**41.9**	44.4

＜ 正答数分布グラフ ＞



＜ 主なポイント ＞

・空気は熱せられた部分が上方に移動して全体が温まっていくことを理解し、熱気球が飛ぶ仕組みと結び付けて考えることは概ねできている。

・磁石に引き付けられる物と引き付けられない物があることや、電気を通す物と通さない物があることを理解し、おもちゃ作りの過程を通して銅の性質について考えることに課題がある。

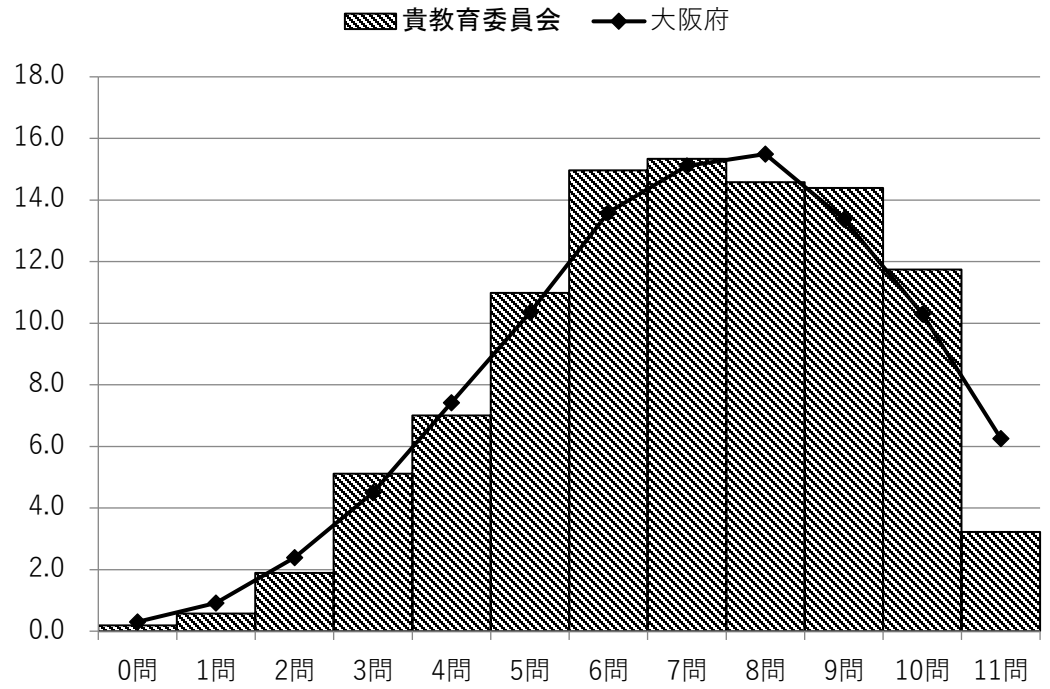
【6年生　理科】

大阪の小学生が苦手としている、見通しをもって観察、実験を行うことや、示されたデータから必要な情報を読み取って論理的に思考し、根拠に基づき表現することが出題されている。

	平均正答数	平均正答率	無解答率
泉大津市	7.0問 / 11問	63.5%	1.0%
大阪府（公立）	7.0問 / 11問	64.0%	1.3%

分類	区分	平均正答率（%）	
		泉大津市	大阪府
学習指導要領の内容	「エネルギー」を柱とする領域	**57.0**	62.4
	「粒子」を柱とする領域	**62.4**	63.7
	「生命」を柱とする領域	**57.5**	54.1
	「地球」を柱とする領域	**68.0**	68.4
評価の観点	知識・技能	**53.3**	51.9
	思考・判断・表現	**69.4**	70.9
問題形式	選択式	**62.9**	64.3
	短答式	**60.9**	54.5
	記述式	**76.9**	79.7

＜ 正答数分布グラフ ＞



＜ 主なポイント ＞

・雲の量や動きと天気の変化との関係を理解し、降水量の情報から雲の動きについて考えることは概ねできている。

・物が水に溶ける量が水の温度や溶ける物によって異なる性質を利用して、溶けている物を取り出せることを理解し、温度変化によってどの水溶液から溶けている物が取り出せるかを考えることに課題がある。

わくわく問題（教科横断型問題）に関する調査結果

【分類・区分別集計結果】（5・6年生）

分類	区分	5年		6年	
		泉大津市	大阪府	泉大津市	大阪府
全体		57.4	58.1	68.7	68.5
観点	A 図や表、グラフ、短い文章、会話文等の内容を関連付けて、正しくとらえる。	55.8	57.5	67.8	68.4
	B 図や表、グラフ、短い文章、会話文等の内容を関連付けて、それをもとに論理的に考える。	50.3	52.3	64.1	63.8
	C 図や表、グラフ、短い文章、会話文等の内容を関連付けて、それをもとに新たな課題を考える。	60.5	60.9	75.2	73.6
	D 図や表、グラフ、短い文章、会話文等の内容を関連付けて、それをもとに自分の考えをまとめ、伝える。	66.5	65.4	78.3	76.6
	E 興味・関心のある事がらについて、意欲的に工夫して相手に伝える。	78.7	74.3	84.5	82.5
問題をとらえる	文章から読み取る	49.4	51.5	62.8	63.7
	会話から読み取る	53.1	53.8	65.1	64.0
	図や表から読み取る	61.9	62.2	72.9	72.4
伝える	資料の情報を整理して伝える	53.8	55.2	65.3	65.5
	自身で考えたことを伝える	66.5	65.4	78.3	76.6
	理由や根拠を明確にして伝える	60.5	60.9	75.2	73.6
問題形式	選択	46.2	47.6	56.3	57.3
	図表	66.2	68.3	79.3	78.9
	記述	66.5	65.4	78.3	76.6

大問１

生活に関わりのある「接着剤」を題材とし、資料の整理や読み取った内容に基づいて思考する力を問う内容。
情報同士の関連付けや提示形態の変形など、情報を整理して理解することを重視して構成している。
普段何気なく使っている身近な道具を多面的にとらえ直し、目的によって様々な工夫がなされていることや、身の回りには様々な技術が活用されていることに目を向けるきっかけとしてほしいというメッセージが込められている。

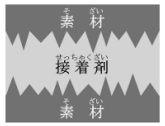
具体的な問題例
大問１（２）

(2) 接着剤によって、くっつくものやくっつかないものがあるということに興味をもったあかねさんは、なぜ接着剤でものをくっつけることができるのか調べることにしました。次の**【接着剤がものをくっつける仕組み】**は、あかねさんが調べているときに見つけた資料です。

【接着剤がものをくっつける仕組み】

接着剤がものをくっつける仕組みはいくつかありますが、代表的な仕組みとしてアンカー効果があります。

木などの素材の表面は、平らなように見えても、実は**（図１）**のように見ることができないほどの小さなでこぼこがあります。このでこぼこの中に入った接着剤が固まることで素材どうしがくっつきます。これをアンカー効果と言います。アンカー効果が強く働くほど、しっかりとくっつきます。



（図１）

例えば、**（図２）**のように表面にでこぼこがたくさんある素材のほうが、素材の表面のでこぼこに入りこむ接着剤の量が多くなるので、アンカー効果は強く働きます。

（図２）

一方、**（図３）**のように表面にでこぼこが少ないガラスなどの素材は、素材の表面のでこぼこに入りこむ接着剤の量が少なくなるので、アンカー効果が働きにくくなります。そのため、表面にでこぼこが少ない素材をくっつけるときには、アンカー効果とは異なるくっつける仕組みをもつ接着剤を使います。

（図３）

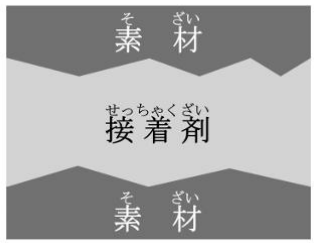
なお、**（図４）**のように素材の表面に汚れがついているときも、素材の表面のでこぼこに接着剤が入りこみにくいため、アンカー効果はあまり働きません。

（図４）

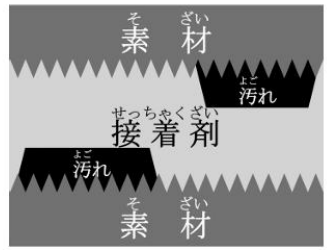
（資料は続く）

問い **【接着剤がものをくっつける仕組み】**の**（図２）**から**（図４）**にあてはまるイラストを下の**ア**から**ウ**までの中から１つずつ選びましょう。

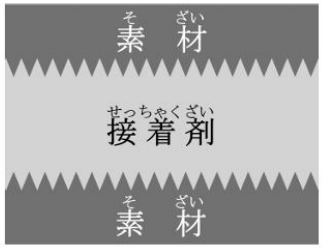
ア



イ



ウ



			5年	6年
1	◎	（図2）ウ、（図3）ア、（図4）イ と解答しているもの	62.6	72.3
9		上記以外の解答	35.4	26.9
0		無解答	2.0	0.8

大問2

観光を題材として、与えられた資料をもとに問われている内容を論理的に思考する力、相手意識や目的意識を明確にして情報を発信する力を問う内容。

観光案内の機能を持ったアプリケーションの構築や、観光の魅力を伝えるという活動を問題場面とした。複数の情報を関連付け、観光プランを考える根拠とし、魅力を伝える活動を通して身近な地域の持つ魅力について考えを深めてほしいというメッセージが込められている。

具体的な問題例 大問2（2）

(2) 図で相談を整理した後、中村さんが「デジタル観光案内」の画面について提案してくれました。

相談が整理されたので必要な機能がわかりやすくなりましたね。私は、緊急時に相談できる機能もあればよいと思いました。

解決したいことに合わせた画面を作り、その画面を組み合わせるとよさそうですね。次の５つの画面で作っていきましょう。

画面の名前	画面の内容
トップ画面	「デジタル観光案内」を始めると最初に出る
「地図」画面	地図で場所を調べられる
「検索」画面	キーワードを入れると一覧表が出る
「説明」画面	検索で調べたことのくわしい説明を見られる
「相談」画面	緊急時に電話やチャットで相談ができる

続いて、「画面がどのように移動できたらよいか」について中村さんと考えています。

説明の画面以外はトップ画面から移動ができるとよいですね。利用する人にとって使いやすいように画面と画面の間の移動を考えましょう。

かなたさんたちはみんなで話し合い、次のようにまとめました。

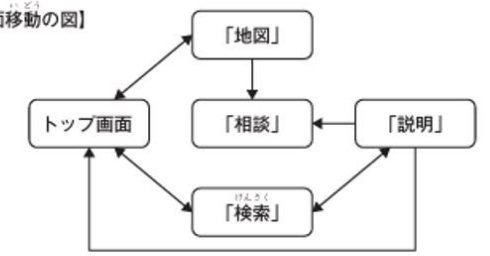
【みんなの意見】

- どの画面からもトップ画面にはもどれるほうが使いやすい。
- 「検索」画面から「説明」画面に行けて、説明を読んだら、「検索」画面にもどれるほうがよいと思う。
- 「地図」画面で観光地などを見つけたら、「説明」画面が見たいと思う。見終わったら「地図」画面にもどれると使いやすそう。
- 緊急時にすぐ使えるように、「相談」画面にはどの画面からでも行けるとよさそう。
- 相談をしているときにまちがって他の画面に行かないように、「相談」画面からはトップ画面にしか行けないほうがよいと思う。

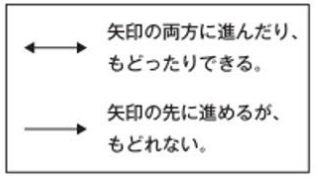
問い 中村さんのお話と【みんなの意見】をもとに下の【画面移動の図】を作りました。中村さんのお話と【みんなの意見】をすべて満たして【画面移動の図】を完成させるには、【画面移動の図】にあと3か所矢印を加える必要があります。解答用紙の【画面移動の図】に必要な矢印を3つ書き加えましょう。

書き加える矢印はあとの【矢印の種類】から選びましょう。

【画面移動の図】



【矢印の種類】



			5年	6年
1	◎	3つの矢印を正しい位置および向きに書き込み、矢印の種類も正しいもの	16.1	23.1
2	○	3つの矢印を正しい位置に書き込んでいるが、矢印の向きや種類が正しくないもの	25.5	36.4
3	○	2つの矢印を正しい位置および向きに書き込み、矢印の種類も正しいもの	2.4	4.0
4	○	1つの矢印を正しい位置および向きに書き込み、矢印の種類も正しいもの	7.2	7.4

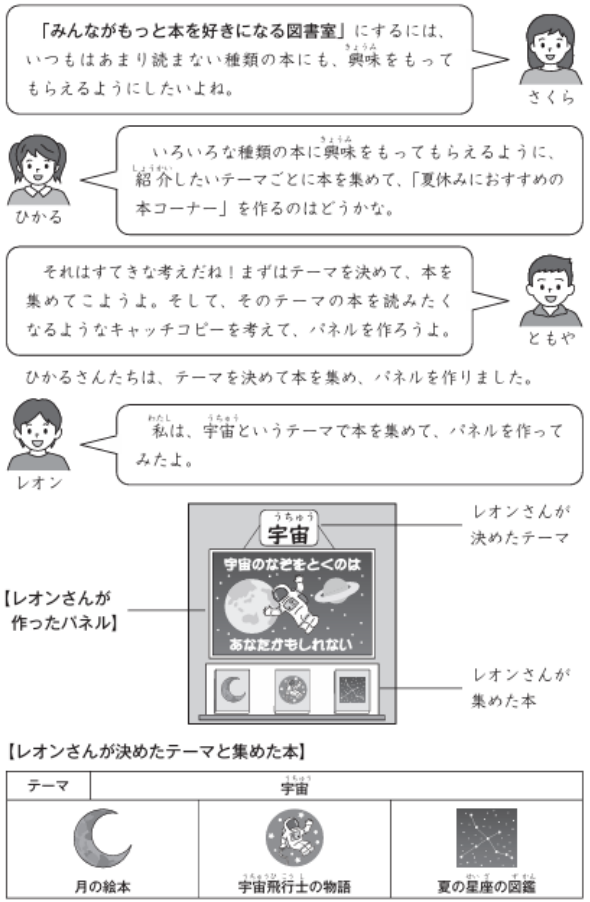
大問3

図書委員会活動を題材とし、資料や会話の内容を適切に読み取る力、相手に興味・関心をもってもらうには、どのようなキャッチコピーが良いかを考え表現する力を問う内容。

図書委員会活動の場面に触れることで、読んだことのないジャンルの本を読んでみるなど、読書への関心を高めるきっかけとしてほしい。また、児童が委員会活動をより自主的、実践的に取り組むきっかけとしてほしいというメッセージが込められている。

具体的な問題例
大問3（3）

(3)　6月の委員会活動で、ひかるさんたちは、**「みんながもっと本を好きになる図書室」**にするために、話し合っています。



【レオンさんが決めたテーマと集めた本】

テーマ	宇宙		
	月の絵本	宇宙飛行士の物語	夏の星座の図鑑

問い　あなたなら、紹介したい本のテーマに興味をもってもらえるように、どのようなパネルを作りますか。前のページの**【レオンさんが作ったパネル】**を参考に、次の**【条件】**に合わせてかきましょう。

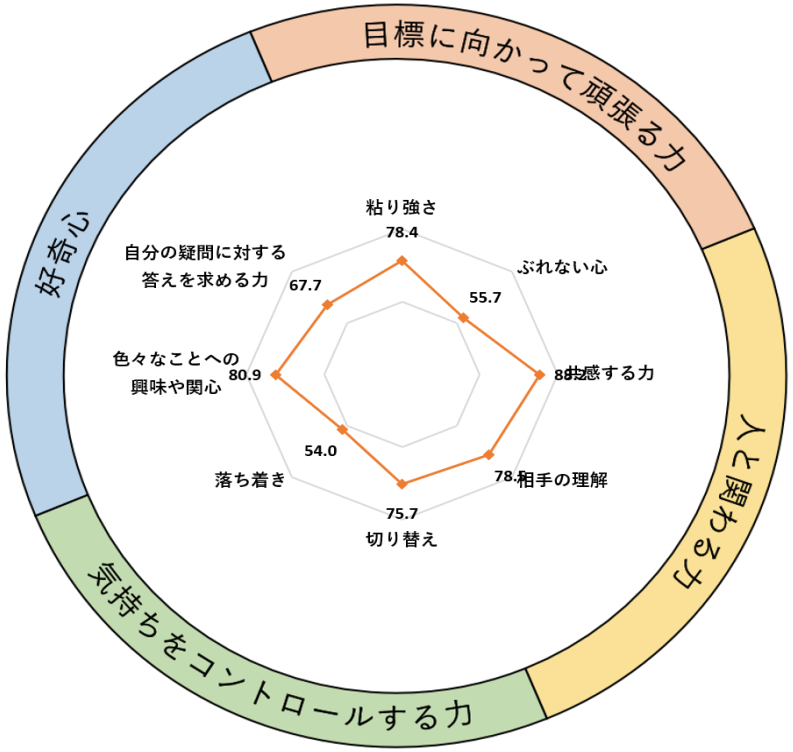
【条件】○紹介したい本のテーマを、下から1つ選びましょう。
（選んだテーマのマークを1つ塗りつぶしましょう。）
○**【パネル】**のらんに、紹介したい本のテーマについて、
・テーマがわかりやすく伝わる
・短い言葉で興味をもってもらえる
キャッチコピーを書きましょう。
※絵はかいてもかかなくてもかまいません。
○**【工夫】**のらんに、キャッチコピーにどのような工夫をしたのか、文章で具体的に書きましょう。

（正答の条件） 次の条件を全て満たして解答している。 ①【本のテーマ】を1つ選んでいる ②【パネル】に、キャッチコピーを用いたパネルを書いている ③【工夫】に、キャッチコピーにどのような工夫をしたのかを書いている			5年	6年
1	◎	条件①、②、③を満たして解答しているもの	52.3	63.8
2	○	条件②、③を満たし、条件①を満たさないで解答しているもの	1.7	1.5
3	○	条件①、②を満たし、条件③を満たさないで解答しているもの	23.5	18.4
4	○	条件②を満たし、条件①、③を満たさないで解答しているもの	1.3	0.8

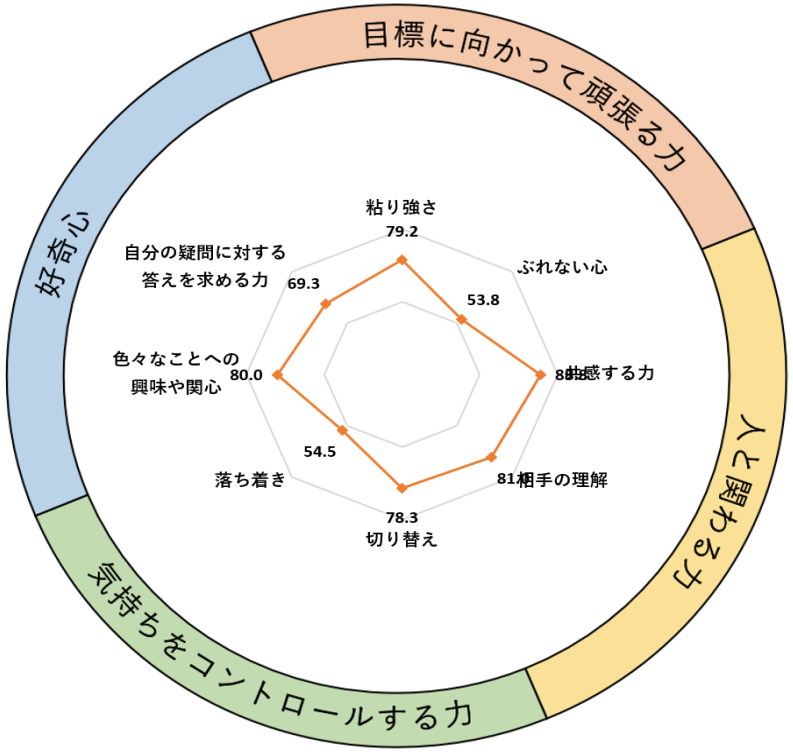
児童アンケート結果

「未来に向かう力」と「好奇心」について

[5年生]



[6年生]



※「目標に向かって頑張る力」・「人と関わる力」・「気持ちをコントロールする力」の【未来に向かう力】と、【好奇心】の項目の、児童一人ひとりの回答から平均を算出し、その平均を項目の合計で除して百分率で換算した値

泉大津市の子どもたちの全体の傾向として、【未来に向かう力】のうち、「人と関わる力」がほかの力に比べて高いという結果だった。一方、「目標に向かって頑張る力」のうちの「ぶれない心」や「気持ちをコントロールする力」のうちの「落ち着き」が、他の観点に比べると低い傾向であるという結果だった。また、【好奇心】のうち、「色々なことへの興味や関心」は「自分の疑問に対する答えを求める力」と比べて高いという結果だった。

泉大津市の強み

1. ICTを活用した学習

〈（ ）内の数値は対府比〉

・「授業でPC・タブレットなどのICT機器を使って、自分の考えを発表したり、友達と意見を交換したり（共有したり）していますか。」
　　5年生：76.4%（+23.1pt／「とてもある」強肯定 30.5%）
　　6年生：84.1%（+27.8pt／「とてもある」強肯定 49.3%）
・「授業でPC・タブレットなどのICT機器を使って、自分のペースで学習したり、練習問題に取り組んだりしていますか。」
　　6年生 77.3%（+15.6pt）、 5年生 72.6%（+8.7pt）
・「授業でPC・タブレットなどのICT機器を使って、調べものをするために情報を集めたりしていますか。」
　　6年生 86.8%（+14.6pt）、 5年生 81.1%（+10.9pt）

2. 失敗を許容する学級風土と成長の伸び

・「授業中まちがっても笑われない」 6年生 67.7%（+6.9pt／前年度より+13.1pt上昇）
・「自分にはよいところがある」 5年生 90.3%（ +1.2pt／前年度より+2.9pt上昇）
・「授業の終わりに振り返りをしている」 6年生 83.6%（+8.0pt）、 5年生 80.0%（+3.8pt）

泉大津市の今後の課題

1. 多角的な思考・他者理解の深まり（5年生での課題）

〈（ ）内の数値は対府比〉

・「自分と違う考えの人になぜそう考えるか分かろうとする」
　　5年生 62.8%（-6.5pt）
・「休み時間と授業時間の切りかえができる」
　　5年生 75.8%（±0pt）

2. 家庭における学習時間・読書習慣の不足（6年生で顕著）

・「授業や宿題以外の勉強時間」
　　6年生の肯定率（1時間以上等の積極層）は 19.3%（-5.4pt）
・「普段の読書時間」
　　6年生 13.2%（-16.1pt）

3. メディア利用（ゲーム・SNS）と生活習慣

・「学習以外のスマホ・タブレット・ゲーム利用時間が長い」
　　6年生において利用時間が多い層の割合が 48.1%（+8.0pt）
・「適切な時刻に寝ている」
　　6年生 35.2%（-4.4pt）

教員アンケート結果

回答した教員数：１０３名

泉大津市の強み

1. ICTを活用した協働学習

〈( )内の数値は対府比〉

・「感想やアドバイス等をコンピュータやタブレットで伝え合う活動」　59.2%（+20.1pt）
・「自分の考えを書きこんだり、まとめたりして、考えを共有する授業」　76.7%（+12.6pt）

2. 同僚性と組織的な共有体制

・「他学年の教員と連携して取り組む雰囲気」　66.9%（+12.2pt）
・「職員室には前向きな雰囲気がある」　75.7%（+12.1pt）
・「日ごろから授業についてアドバイスし合う雰囲気」　51.5%（+10.7pt）
・「校内では普段から授業を見せ合う機会がある」　強肯定 53.4%（+11.1pt）

3. 安心して学べる基盤と対話的指導の定着

・「児童一人ひとりのよいところを認めたり励ましたりする」、「授業で間違うことは悪いことではないと指導」、「少数意見であっても大切にする」：いずれも肯定率 100%
・「考えが深まるよう具体的手法（比較・分類・関係づけ等）を指導」　92.2%（+1.1pt）
・「自分の意見と他の人の意見を比べて聞くように指導」　強肯定 62.1%（+3.9pt）

泉大津市の今後の課題

〈( )内の数値は対府比〉

1. 児童主体の調べ学習・読書活動の伸び悩み

・「進んで資料を集めたり取材をしたりするような授業」　59.2%(-5.4pt)
・「プレゼンテーション資料等にまとめて発表する授業」　36.9%(+4.4pt)
・「各教科において学校図書館を活用する授業」　31.1%(+2.3pt ／ 強否定が 28.2%)

2. 教員の抱え込み傾向と職場の心理的安全性

・「困ったときに相談しやすい雰囲気」　65.1%(+4.9pt ／ R4年度 76.9% から低下傾向)
・「しんどいときに弱音を言える雰囲気」　59.2%(+6.6pt ／ R4年度 72.6% から低下傾向)
・「不適切なことに気づいたら指摘し合える雰囲気」　41.8%(+2.9pt)

3. 学習定着度の把握と家庭学習指導

・「客観的指標(テスト等)で学習理解度を把握」　75.7%(+4.6pt ／ 強肯定は 25.2%)
・「家庭学習の進め方についてあらかじめ指導」　強肯定 40.8%(-11.8pt)